

つるおかし ざいじゅうがいこくじん
鶴岡市 在住外国人のための

ぼうさい
防災ハンドブック

にほんごばん
(やさしい日本語版)



はじめに

にほん じしん たいふう おお くに しゅうちゅうごうう いちど ふ あめ
日本は、地震や台風などが多い国です。集中豪雨(一度にたくさん降る雨)

おお たいふう ときどき ひがい ふゆ きせつ
や大きい台風などが時々あって、被害もたくさんあります。また、冬の季節は
ゆき おお ふ さむ ゆき げんいん ひがい お
雪が多く降り、寒さや雪が原因で、被害が起きます。

つるおかし す がいこくじん あんぜん あんしん せいかつ
鶴岡市では、ここに住んでいる外国人が安全に、安心して生活できるように、

つるおかし ざいじゅうがいこくじん ぼうさい つく
「鶴岡市 在住外国人のための防災ハンドブック」を作りました。やさしい

にほんご えいご ちゅうごくご かんこくご ご げんごばん
日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語の5言語版があります。

ほん さいがい じゅんび さいがい
この本には、どんな災害があるか、どんな準備をしたほうがいいのか、災害が

あったときどうするか、避難する時はどんなことに注意するかなどが書いて

あります。この本を読んで、あなたとあなたの大切な家族を守りましょう。そ

して、家族や知り合いと災害について考えてみましょう。

もくじ

● 地震

地震について	1
・地震の前に 準備すること	2
・地震が起きたら すること	4

● 台風

台風について	7
・台風の前に 準備すること	8
・台風が起きたら すること	9

● 大雨・土砂災害

大雨・土砂災害について	10
・大雨・土砂災害の前に 準備すること	12
・大雨・土砂災害が起きたら すること	14

● 雪害・冷害

雪害・冷害について	18
・冬になる前に 準備すること	19
・冬になったら すること	20

● 落雷

落雷について	22
・雷 から自分を守るために できること	22

ぼうさい さいがい まえ さいがい あと
● 防災まとめ（災害の前、災害の後）

- いえ じゅんび ぼうさいけいかく 23
・家でできる準備「防災計画」
- ただ じょうほう あつ じょうほうしゅうしゅう 25
・正しい情報を集めましょう「情報収集」
- かぞく あんぜん かくにん あんびかくにん 30
・家族が安全か 確認しましょう「安否確認」
- ひなんじょ 32
・「避難所」
- さいがい まえ じゅんび びちくひん ひじょうじもちだしひん ... 35
・災害になる前に準備しましょう 「備蓄品」「非常時持出品」

ぼうさい たいせつ
● 防災メモ ～大切なことをメモしておきましょう～ 39

きんきゅうれんらくさき けいさつ しょうぼう
● 緊急連絡先（警察、消防など） 40

じしん 地震



地震になると、地面が大きく揺れます。日本は地震が多い国です。今まで、大きな地震で、たくさん建物が壊れたり、人が亡くなったりしました。地震はいつ起きるかわかりません。地震が起きたら、このようなことがあります。

- ・ 壁や木が倒れたり、建物や家が壊れたりします。
- ・ 電話やインターネットが使いにくくなります。
- ・ 電気、ガス、水道などが止まります。
- ・ 山が崩れたり道が壊れたりして、道路が使いえなくなります。
- ・ 火事が起きます。

2019年の地震で、鶴岡市の温海地域などで多くの家が壊れました。

つなみ ○津波

地震が起きると海の水が動いて、大きな波になって津波になります。日本は周りが海なので、今まで何回も大きな津波が来ました。津波は海が深いと速くなり、とても早く海岸へ来ます。海岸の形や海の底の形によって、津波の高さは変わります。想像できない高さになることもあります。津波は何回も来ます。津波が止まったように見えても、また来るかもしれません。海や川の近くに行くことは危険です。小さい地震でも津波が来る場合もあります。大きい津波が来ると、建物や車が流されることもあります。

2011年の東日本大震災の時は、地震や津波で大きな被害がありました。



じしん まえ じゅんび 地震の前に 準備すること



じしん とつぜん お せいかつ なか じゅんび
地震は突然、起きます。いつもの生活の中で、準備しましょう。

しよつきだな たお たか ところ もの お
○食器棚やタンスなどが倒れたり、高い所の物が落ちないようにしましょう

- たか たな いえ なか お
・高い棚などは、家の中にできるだけ置かないようにします。
- おも もの こわ もの した お
・重い物やすぐ壊れる物は下に置きます。
- たな たお うご かべ ゆか こてい
・棚などが倒れたり動いたりしないよう、壁や床などに固定します。
- テレビやパソコンなども、うご こてい
・動かないように固定します。
- ガラスには ひさんぼうし は は
・ガラスには「飛散防止」のフィルムを貼ります。このフィルムを貼ると、ガラスが割れても飛び散りません。
- いえ なか と こ たな お ばしょ かんが お
・家の中に閉じ込められないように、棚などを置く場所を考えて置きます。
- でいりぐち まえ もの お
・出入口やドアの前には、物を置かないようにします。
- いえ へ や あんぜん そと に かくにん
・家の部屋などから安全に外に逃げられるか、確認します。



○すぐに持って逃げられるものや、災害の時の水などを準備して

おきましょう

- ・避難する（安全な所に逃げる）時に大切なものを持って行けるよう「非常持ち出し袋」を準備します。
- ・職場や車の中にも、緊急の時に必要なものを入れておきます。
- ・災害の時のために準備しておくもの（食べ物、水など）を「備蓄品」と言います。備蓄品は、必ず3日分は用意します。3日分より多くてもいいです。

→P. 35

○火事が大きくならないようにします

- ・いつも消火器を準備しておきます。火事になったらすぐに使います。小さい火でも、大きい火事になることがあります。
- ・できるだけ早く、火を消すことが大切です。消火器の使い方を知っておきましょう。



○寝る部屋に置くと良いもの

- ・夜、地震が起きると、電気が止まって停電になるかもしれません。懐中電灯を寝る部屋に置きましょう。
- ・夜にガラスが割れてもケガをしないように、靴やスリッパを置きましょう。



○家族で話しましょう

- ・家族の人と、避難をする場所や、逃げる道を確認しておきます。→P. 32, 33
- ・災害の時、家族がいろいろな場所にいる場合、どうやって連絡をするか決めておきましょう。 →P. 24

じしん お 地震が起きたら すること

じしん おお まわ ようす に ほうほう か あんぜん ひなん
地震の大きさや周りの様子によって、逃げる方法も変わります。安全に避難し
ましょう。

きんきゆうじしんそくほう けいたいでんわ とつぜん おと けいこくおん な ○緊急地震速報（携帯電話やテレビから、突然、音（警告音）が鳴ります）

おお じしん く まえ おと し けいこくおん おお じしん
・大きい地震が来る前に、音で知らせます。警告音がなったら大きい地震が
来るかもしれません。自分の安全を守ってください。

じしん ちか けいこくおん まえ じしん く
※地震が近いときは、警告音より前に地震が来るかもしれません。



いえ たてもの なか ○家や建物の中にいるとき

- じょうぶ つよ つくえ した かく
・丈夫で強い机やテーブルなどの下に隠れます。
- ゆ お お ま きゆう そと で おお つ
・揺れているのが終わるまで待ちます。急に外に出てはいけません。落ち着
きましょう。
- ゆ お だいどころ ひ き たし
・揺れているのが終わったら、台所やストーブの火が消えているか確かめま
す。念のため、ガスの元栓は閉めます。
- わ ちゆうい くつ は うご
・割れたガラスなどに注意して、スリッパや靴を履いて動きます。

そと ○外にいるとき

- あたま まも やね かわら お ところ
・カバンなどがあれば頭を守ります。ガラスや屋根の瓦などが落ちない所
に避難します。
- べい たお あぶ
・ブロック塀は倒れるかもしれないので、危ないです。
ちか い
近くに行かないでください。



○車を運転しているとき

- ・ゆっくり道路の左側に車を止めます。
 - ・揺れているのが止まるまで、車から外に出ないでください。
 - ・車を置いて避難するときは、鍵をつけたまま避難します。ドアは鍵をかけません。
- ※救急車や消防車が通るとき、道にある車を動かすことができます。
車を置いて避難する時は、車検証は持って行きます。

○電車やバスに乗っているとき

- ・座っているときは、頭を守って、体を小さくします。
- ・立っているときは、転ばないように手すりや、つり革につかまります。

○エレベーターに乗っているとき

- ・全部の階のボタンを押します。近くの階で止まったら出ます。
 - ・閉じ込められたときは、「非常ボタン」を押します。
- エレベーターの会社に電話がつながるので、ゆっくり、様子を伝えます。
無理にドアを開けてはいけません。とても危険です。

○駅やお店などで、周りに人がたくさんいるとき

- ・揺れが止まったら避難します。自分で勝手に行動をしないで、お店の人などの話をよく聞きます。他の人と一緒に行動してください。
- ・パニックになって走ったり、階段や出入口に人がたくさん集まりすぎると、ケガをします。

おさない



○海の近くにいるとき

- ・地震が止まったら、すぐ、できるだけ高い場所（高台）に逃げます。
- ・高い場所が遠いときは、近くの、コンクリートなどでできている、強くて高い建物に逃げます。
- ・車で逃げると車が道に多くなって、前に進めないかもしれません。その間に津波が来るかもしれませんから、車は使わないで逃げます。
- ・津波は一度止まったように見えても、後から何回も来ます。第2波（2回目）、第3波（3回目）の津波に注意します。
- ・テレビやラジオ、防災行政無線などを見たり聞いたりして、正しい情報を知りましょう。

高台に避難 してください



- ・海から離れていても、危険です。津波は、川など通って、海から離れた場所まで行くことがあります。川など、水が流れる場所を見に行ってははいけません。
- ・海岸に来る大きい波（「押し波」）だけでなく、海の向こうに戻っていく波（「引き波」）にも注意しなければなりません。「押し波」「引き波」で、壊れた家や建物などが海に流されます。





台風は西太平洋や南シナ海から来る強い風です。日本で台風が多いのは、7月から10月までです。台風の数が多いのは8月です。大きい台風は9月に多く来ます。

台風が来ると、強い風が吹いて大雨が降ります。物が飛ばされたり、壊れたりして、たくさん被害が出ます。台風で、川の水が溢れたり、道路に水が来て通れなくなったりします。家の下や家の中に水が入ることもあります。

○台風の時はこのような被害があります

- ・雨がたくさん降って、山や斜面が崩れたり、川などの水が多くなって洪水になったりします。
- ・とても強い風が吹くので、歩いている人が転んだり、車が横に倒れたりします。建物が壊れたり、道路が通れなくなったりします。
- ・海の水面上が高くなったり、船が壊れたり、ぶつかったりします。

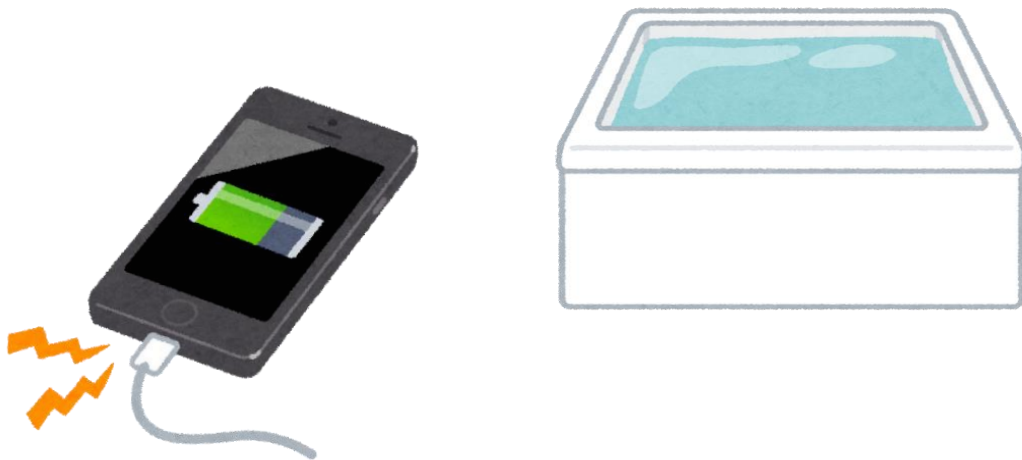
2018年にあった台風では、西日本で大きい被害がありました。電車や飛行機が遅れたり止まったりしました。とても強い風で建物の屋根が飛んだり、トラックが横に倒れたり、車が吹き飛ばされたりしました。

台風が来る前に 準備すること

台風が来ると、短い時間で天気が急に変わることがあります。「まだ大丈夫」と考えないで、台風が来る前に準備しておくことが大切です。

○台風が来る前にすることや、準備することを確かめましょう

- ・「非常用持ち出し袋」の中の物を時々確認しましょう。足りない物があったら入れましょう。 ➡P. 35
- ・鶴岡市の「ハザードマップ」や、自分が住んでいる場所に危ない所がないか、確認しましょう。 ➡P. 32
- ・避難所がどこにあるか確認しておきましょう。家族と、連絡方法や避難する場所を決めておきましょう。 ➡P. 32
- ・外にある物（洗濯物を干す竿や植物の鉢など）を家の中へ入れます。
- ・雨戸やシャッターを下ろします。
- ・窓ガラスにテープや「飛散防止フィルム」を貼ります。
- ・スマートフォンや携帯電話、モバイルバッテリーを充電します。
- ・できれば、お風呂の水を残したままにしておきます。
(水が止まった時に、トイレや、物を洗うのに使うことができます。)



台風が起きたら すること

○一番新しい情報を集めましょう

台風が来そうな時は、早く台風の情報を確認して、自分と家族の安全を守りましょう。

- ・テレビやラジオなどで天気の情報を確認します。
- ・気象台が発表する情報（天気予報）を確認します。
- ・気象庁のホームページ：警報・注意報、台風の情報、雨の量などの天気の情報を確認します。
- ・鶴岡市が発表する避難の情報は「緊急速報メール」が来たり、「防災行政無線」で流れたりします。
- ・LINEアプリで鶴岡市を「友達登録」すると、防災の情報を見ることができます。
- ・いろいろな国の言葉で情報が見られるアプリをダウンロードしておきます。

➡P. 26, 27

○とても強い風が吹く時

- ・できるだけ外には出ません。風で転んだり、物が飛んで来てぶつかるかもしれません。
- ・自分がいる所に台風が来たら、絶対に家や避難所から外に出てはいけません。
- ・家や建物の中にいるときは、カーテンを閉めます。ケガをしないように、窓から離れます。
- ・外にいる時は、風で物が飛んでくるかもしれないので注意します。カバンなどで頭を守りながら、強い建物の中に避難します。



おおあめ どしゃさいがい
大雨・土砂災害



あめ
雨がたくさん降ると、いろいろな災害が起きます。台風の時や、大きい雨雲
うご
が動かないで同じ所にあると、大雨になります。

おおあめ こうずい
○大雨で洪水になります

かわ みず
川の水があふれて、家や建物に水が入ったり、道路に水がたまったりすること
こうずい
(洪水)があります。日本は雨が多いので、洪水の被害も多いです。雨が
ふ
降る「梅雨」の時期、台風が多く来る6月から9月頃に、洪水が多くあります。

おおあめ ふ やま くず どしゃさいがい お
○大雨が降ると山が崩れたりする「土砂災害」が起きます

どしゃさいがい
「土砂災害」は、建物を壊すくらいの土や石、砂などが、とても強く速く
なが
流れ、人の命や家などが一瞬で無くなってしまふ恐ろしい災害です。

どせきりゅう
「土石流」・・・山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものす
い
ごい勢いで流れ下ってきます。

くず
「がけ崩れ」・・・急な斜面が突然崩れ落ちます。

じ
「地すべり」・・・緩い角度の斜面が動いたりします。

どしゃさいがい お
このような土砂災害が起きますと、大きい被害になります。



せんじょうこうすいたい ○線状降水帯

「線状降水帯」は、雨雲（積乱雲）が次々にできて大きくなり、線のよう
に長く並んでいる雲のかたまり（積乱雲群）です。何時間も、だいたい同じ場所
に雲があって、大雨になります。「線状降水帯」ができると、大雨や集中豪雨
（同じ場所で何時間も大量の雨が降ること）になって、大きい被害が発生し
ます。平成29年（2017年）7月に九州地方で「線状降水帯」ができて、大
きな被害がありました。



おおあめ どしやさいがい まえ 大雨・土砂災害になる前に すること

おおあめ げんいん お きせつ かんけい いちねんじゅう
大雨は、いろいろな原因で起きます。季節に関係なく、一年中あります。
ひがい じゅんび
被害がないように、いつも準備しておきましょう。



ぼうさいじょうほう さいがい ふせ じょうほう きしょうじょうほう てんき じょうほう ○防災情報（災害を防ぐための情報）・気象情報（天気の情報）などを あつ 集めましょう

- ・ハザードマップを時々確認しましょう。家の周りで水が多くなったり
あふ ばしょ つち すな いし なが あぶ ばしょ
溢れそうな場所がないか、土や砂、石が流れて危ないかもしれない場所
どしやさいがいけいかいいき きけんかしよ し
（土砂災害警戒区域・危険箇所）がないか、知っておきます。 →P. 25
- ・逃げる時の道（避難経路）と避難所について知っておきます。 →P. 32
- ・天気情報をテレビやラジオ、インターネットなどで集めます。 →P. 26

そっこう どうろ わき みず なが ところ あま やね みず なが ところ ○側溝（道路の脇などの水が流れる所）や雨どい（屋根などの水が流れる所） ときどきそうじ を、時々掃除します

そっこう なに つ あめ みず なが みず そっこう
側溝に何かが詰まっていると、雨の水がうまく流れません。水が側溝から
あふれるかもしれません。



○家の中などに水が入ってこないよう、土のう（袋に土を入れたもの）など

を準備します

- ・ 玄関など、水が入りやすい所に、土のうを置いておく。
- ・ 土のうがない時は、大きいゴミ袋を二枚重ねて、中に水を入れます。土のうの代わりに使います。



○「非常用持ち出し袋」の中を、時々確認します。足りないものは、新しく
入れます。 ➡P. 35

おおあめ どしやさいがい お 大雨・土砂災害が起きたら すること

かわ ようすいろ ちか い ○川や用水路の近くに行かない

かわ ようすいろ た わき ちい かわ みず りょう ふ みず
川や用水路（田んぼの脇などの小さい川）で水の量が増えたり、水の流れ
はや
が速くなったりします。落ちると溺れてしまうこともありますので、絶対に
ちか い
近くに行っちゃはいけません。



やま しゃめん はな とお い ○山などの斜面から離れて、遠くに行く

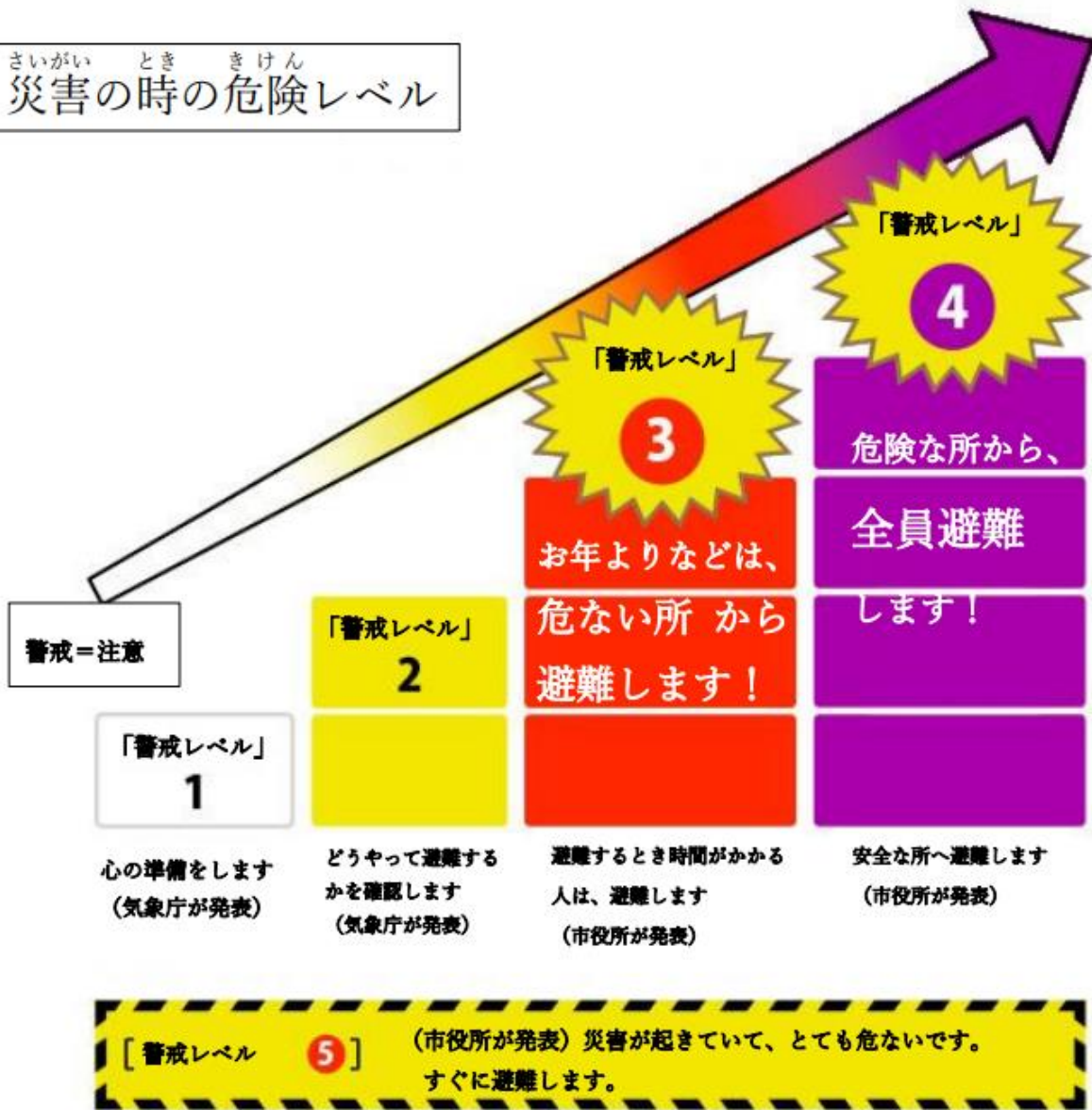
やま きゅう しゃめん くず わ ぜったいちか い
山などの急な斜面は、いつ崩れるか分かりません。絶対に近くに行っちゃはい
しゃめん はんたいがわ しゃめん とお ところ ひなん
けません。斜面と反対側（斜面から遠い所）に避難してください。

とき どしやさいがい つち すな いし なが さいがい お ○このような時、土砂災害（土や砂、石が流れる災害）が起きるかもしれません

どしやさいがい お おも はや ひなん した
土砂災害が起きるかもしれないと思ったら、早めに避難してください。下の
よくい
ようなことがあったら、特に注意してください。

- なにち なが あめ ふ
・何日も長く雨が降ったり、たくさん量の雨が降ったりする。
- やまな やま ぜんたい ひく おと
・山鳴り（山の全体から、うなっているような低い音）がする。
- あめ なが ふ かわ すいめん いち ひく
・雨が長く降っているのに、川の水面の位置が低くなる。
- かわ みず にご たお き なが
・川の水がきれいでなくなったり（濁ったり）、倒れた木が流れていたり、
つち にお
土のような匂いがする。
- しゃめん がけ おと き うえ いし お がけ とちゅう
・斜面（崖）から音が聞こえたり、上から石が落ちてきたり、崖の途中から
みず で
水が出てくる。
- じめん わ め きれつ だんさ き なな かたむ じめん
・地面に割れ目（亀裂）や段差ができた、木が斜めに傾いたり、地面が
ゆ
揺れたりする。
- やま かわ さわ い ど みず にご
・山にある川（沢）や、井戸の水がきれいでなくなる（濁る）。

さいがい とき きけん
災害の時の危険レベル



ひなん とき ちゅうい
○避難する時に注意すること

- ・ 山 (斜面) からできるだけ離れた場所へ避難する。
 - ・ 夜遅く大雨が降ると、外に出て避難ができないかもしれません。その時は家などの建物の2階か、それよりも高い安全な場所へ避難してください。
 - ・ 隣の家の人などと声をかけ合います。近くの人と協力して避難します。
 - ・ 動きやすい服を着ます。靴はスニーカーなど、簡単に脱げない靴、歩きやすい靴をはきます。長靴やサンダルを履いてはいけません。
- ※長靴は、中に水が入ると、うまく歩くことができません。避難の時に履いてはいけません！

- ・「大雨注意報」や「大雨警報」が出たら、すぐに川など水がある所から離れます。
- ・雨が急に多くなると、川が溢れたり、側溝・用水路の水が溢れたりして、道路に水がたくさん溜まって、通れなくなることがあります。道が水で通れなくなる前に、高い場所へ避難してください。



- ・夜に避難するのはとても危険です。明るい時間や、雨がたくさん降る前に避難しましょう。

※「避難」＝避難所だけでなく、親戚の家や、ホテルなど泊まることができる所に行くことも「避難」と言います。

- ・歩く場所に注意します。マンホールのふたが外れていたり、段差があっても見えないかもしれません。その場合、転んだりケガをするかもしれないので危険です。道路や家に水が入って下が見えない時は、傘や杖などを使って歩く場所を確認しながら、気を付けて避難してください。

※歩くことができる水の深さ＝だいたい、大人の男性で70cm、女性で50cmまでです。それより深い水の中は、歩くことが難しいです。水が早く流れている時は、動くことが難しく、とても危ないです。

- ・「土砂災害」は、雨が小さくなってからや、雨が止まった後も起きるかもしれません。「避難指示」や「大雨警報」が無くなるまで、避難している場所から出ないようにしましょう。

- ・洪水（川などの水が溢れて、道路や家に入ってくる災害）が起きた時は、周りより高い場所や避難場所のビルなど、できるだけ高い所に避難します。動くことが危険な時は、家などから出ないようにします。建物の中にいる時は、できるだけ高い場所に避難します。



- ・道路に水が入った時、車を運転することはとても危険です。エンジンが壊れたり、車が水の中で動けなくなって、人が死ぬかもしれません。もし車の中に水が入ってきたら、すぐに車を停めて、エンジンを止めます。そして、できるだけ早く車から外に逃げます。



せつがい れいがい ゆき さいがい さむ とき さいがい 雪害・冷害（雪の災害、寒い時の災害）

雪害（雪の災害）は、雪がたくさん降って、道路の車や電車が動かなくなったり、野菜や果物など農作物が被害にあうことです。東北地方では、冬にたくさん雪が降るので、大きい雪害が起きることがあります。

庄内地方では、冬に風が強くと「地吹雪」が起きます。地吹雪になると、地面の雪が強い風で飛んで、前が見えなくなります。その時は、外に出るととても危険です。2005年には、秋田と新潟の間を走っていた電車が、強い風と雪で、線路から外れました（脱線しました）。その時、人も亡くなりました。冬の天気はすぐに変わります。何度も気象予報を確認してください。

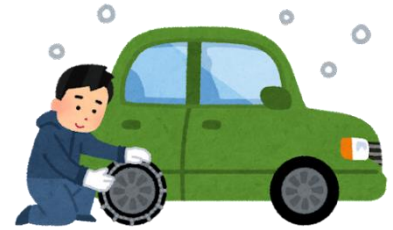
- ・家の屋根にたくさん雪が積もって重くなると、家が壊れることがあります。
- ・大雪になると、道路が通れなくなったり、荷物を運ぶトラックなどが遅くなって、生活に必要なものが店や家に届かなくなる時があります。
- ・除雪作業の時（道路などの雪を片付ける時）や、雪を屋根から下に落とす時、転んだりケガをすることが多くなります。
- ・気温が低くなって、水道が凍ることがあります。
- ・電線に雪が積もって、停電する（電気が止まる）ことがあります。
- ・山などで雪崩（山などでたくさんの雪が崩れて落ちること）が起きることがあります。



ふゆ まえ じゆんび
冬になる前に 準備すること



わたし たちの 住んでいる 所は、冬になると雪がたくさん降ります。
冬になる前に、早く準備をしましょう。



ゆき ふ まえ じゆんび
○雪が降る前に準備しましょう

- ・家の壊れている所などを、直しましょう。
- ・雪を片付ける（除雪する）道具を、雪が降る前に準備します。
除雪機がある時は、問題がないか確認します。
- ・車のタイヤは必ず冬のタイヤ（スタッドレスタイヤなど）に取り替えます。
- ・車の中に、準備しておくといいもの。
 - 防寒具（暖かい服やジャケットなど）
 - 長靴 ●スコップ
 - 物を引っ張る時に使うロープ ●毛布
 - 簡単に食べられる食べものなど。
- ・山の近くに住んでいる人は、雪崩が起きるかもしれない所を確認しましょう。
- ・テレビやラジオ、気象庁のホームページなどを、よく見ましょう。天気をよく確認しましょう（⇒P. 25「防災まとめ 情報収集」）。

ふゆ 冬になったら すること

○大雪になったら、できるだけ外に出かけません

- ・大雪警報・注意報、暴風雪警報（強い風や雪の警報）、風雪注意報（風や雪の注意報）が出たら、とても気を付けなければなりません。外に出たり、出かけたりしないようにします。どうしても出かける必要がある時だけ、出かけます。

○注意して車を運転します

- ・大雪の時は、できるだけ車の運転はしません。
- ・もし雪で車が動かなくなったら、できるだけ早く誰かに連絡をして、助けてもらいます。車の中にいる時は、車のマフラーやその周りに雪が積もる前に、雪を片付けます。マフラーの近くに雪が積もっていないか、何度も確認します。窓やドアを開けて、車の中の空気をよく交換します。車の中で一酸化炭素中毒にならないようにしましょう。

○寒い時、水道が凍らないようにします

- ・冬、家の水道を何日間も使わなかったり、空気の温度が -4°C か、それより低くなると、水道管が凍ることがあります。
- ・水道管が凍ると、水が出なくなります。水道管が壊れることもあります。水道管が壊れると、直す時にお金がかかります。
- ・水道管が凍らないように準備しましょう。
- 「水抜き栓」で水道管の中の水を抜きます。
- 布やテープを水道管に巻きます。凍らないようにします。



- ・もし凍ってしまったら、①蛇口を開けます。②凍っている水道管にタオルなどを巻きます。③ぬるま湯（手で触れるくらいの温かいお湯）をタオルにかけます（急に熱いお湯をかけると水道管が壊れることがあります）。その後も水が出ないときは、水道の会社に電話してください。アパートに住んでいる時は、大家さんや不動産の会社に連絡してください。水道管を直すときは、お金がかかります。



○雪を片づける時（除雪の時）、注意します

- 除雪をするときは、必ず2人か、それよりも多い人数でします。どうしても1人で除雪をするときは、家族や近くに住んでいる人などに、自分が除雪をしていることを言いましょう。緊急の時や危険な時などに、連絡できるように、携帯電話を持って除雪をしましょう。

<家など建物の周りの除雪>

- ・屋根の下で除雪をするとき、屋根から雪が落ちてくるかもしれないので、気をつけます。
- ・除雪機に雪がつかまったら、エンジンを止めてから雪を取ります。

<屋根の上で除雪をするとき（雪下ろしをするとき）>

- ・屋根から雪下ろしをするときは、屋根から落ちてもケガをしないように、家や建物の周りには雪を残しておきます。
- ・はしごを使う時は、はしごが倒れたり動いたりしないように、固定します。
- ・高い所で雪下ろしをするときは、命綱や（落ちないように体にロープなどを付けます）、ヘルメットを使います。



らくらい かみなり
落雷 (雷)



かみなり おと き かみなり くも ちか かみなり お
雷の音が聞こえたり、雷の雲が近くなってきたときは、雷が落ちる
たたく しょうないちほう ふゆ きせつ かみなり おお
かもしれません。特に庄内地方では、冬の季節に雷が多いです。

- ・外では、どこでも雷が落ちるかもしれません。
- ・下のような広い場所で、人に雷が落ちることがあります。
 - グランドやゴルフ場 ●外のプール ●海 ●海の堤防や砂浜
- ・山の上、山の途中の高いところなどでも、雷は人に落ちやすいです。
- ・建物に雷が落ちないようにすることを「避雷対策」と言います。避雷対策
 いえ たてもの かみなり お たてもの なか れいぞうこ
 をしていない家や建物に雷が落ちると、建物の中の冷蔵庫、パソコン、
 テレビなど電気を使う道具を通して、電気が人の体に入る（感電する）
 ことがあります。

かみなり じぶん まも
雷から自分を守りましょう



- ・天気予報をよく見て、雷注意報が出た時は、家や
 たてもの なか
 建物の中にいるようにしましょう。
- ・雷の音がしたり、稲妻（光）が見えたりしたら、
 はや いえ たてもの なか はい
 早く家や建物の中に入りましょう。
- ・鉄筋コンクリートの建物、自動車、バス、電車の中は、外より安全です。
- ・高い木の近くは危険です。木の周り、枝、葉から2mか、もっと遠くに離れ
 すわ からだ ひく も
 ます。座ったり、しゃがんだりして、できるだけ体を低くします。持っている
 からだ たか かみなり おと ひかり お
 ものが、体より高くならないようにします。雷の音や光が終わっても、
 ぶん ばしよ ぶんいじょうじかん た あんぜん ところ い
 20分はその場所にいます。20分以上時間が経ったら、安全な所に行きます。

いえ じゅんび
家でできる 準備
ぼうさいけいかく
「防災計画」



じしん たいふう さいがい お とき いえ じゅんび
地震や台風など、いろいろな災害が起きた時のために、家で準備しましょう。
かぞく はなし ひつよう き
家族と話をし、必要なことを決めておきましょう。

さいがい まえ じゅんび いえ なか あんぜん
◎災害の前に準備します。家の中を安全にします



- ほんだな おも かぐ たな たお うご
・本棚や重い家具（テーブル、棚など）が倒れたり、動いたりしないように、壁などにしっかり止めます。
- たか たな へ や なか お
・高い棚などはできるだけ部屋の中に置きません。
- おも もの こわ もの した お
・重い物やすぐに壊れる物は、できるだけ下に置きます。
- ガラスには、割れても周りに飛ばないように、「飛散防止フィルム」を貼っておきます。
- げんかん そと で ところ ひと とお かぐ
・玄関や外に出る所は、いつも人が通れるようにします。家具などが邪魔になると、外に出ることができません。
- かじ しょうかき ひ け しょうかき じゅんび
・もし火事になったら、消火器で火を消します。消火器はいつも準備しておきます。
- よる じしん く ね へ や かいちゅうでんとう に とき
・夜に地震が来るかもしれません。寝る部屋には、懐中電灯や、逃げる時に履くスリッパなどを準備します。

◎どの避難所に行くか、家族で決めましょう



家族の人と避難する場所や、どの道を通るかを決めておきましょう。

避難するとき、家族が一緒にいない時(学校や会社など、違う場所にいる時)、どこに避難するか、決めましょう。

(⇒P. 32 「防災まとめ 避難所」)

もし家族が違う場所にいるとき、災害があったら、どうやって連絡するか、決めましょう。

(⇒P. 30 「防災まとめ 安否確認」)

◎「非常時の持ち出し品」や「備蓄品」を準備しておきます



備蓄品(災害があった時に食べたり使ったりするもの)

と、避難するとき、すぐに持って行くことができる

「非常持ち出し袋」を準備します。袋の中には、

3日間使う飲み水、簡単に食べられるもの(非常食)、

いつも使うもの(日用品)を入れておきます。

(⇒P. 35 「防災まとめ 備蓄品/非常持出品」)

◎大切なことは、書いておきましょう

運転免許証の番号

銀行の口座番号

健康保険証の番号

クレジットカード、生命保険、損害保険の番号

マイナンバー

薬の名前(いつも薬を飲んでいる人)



⇒P. 39

ただ じょうほう あつ
正しい情報を集めましょう
じょうほうしゅうしゅう
「情報収集」

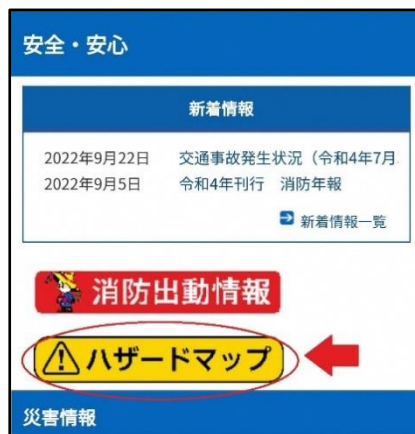


さいがい お あと じんぶん こんらん
災害が起きたすぐ後は、テレビやラジオ、新聞なども、混乱します。いろい
ろな情報が出てきて、正しい情報はどれか、どの情報を見るとき、わ
かりません。また、情報が新しいか古いかも、わかりません。いろいろな方法
で、正しい情報を集めましょう。

◎インターネットのポータルサイトを使いましょう

インターネットのポータルサイトから、いろいろな情報を知ることができます。
県や市などの「災害対策」のページからも情報を集めることができます。

* 鶴岡市のハザードマップ（避難する所の地図）



※下の QR コードから、
ハザードマップを見ることが
できます。



① 鶴岡市のホームページをひらいて、**安全・安心**のところをクリックする。

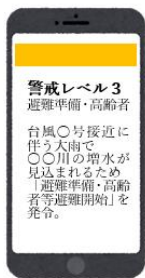
※スマートフォンは、右上にある「メニュー」から**安全・安心**を触ります。

② **ハザードマップ**をクリックする。

災害が起きると、鶴岡市は「緊急速報メール」を出します。「防災行政無線」で避難するための情報を出します。また、鶴岡市は「LINE」があります。

LINEで鶴岡市と「友達」になると、災害について情報を見ることができます。

* 緊急の時の情報は、このように来ます



・ 緊急速報メール

鶴岡市が避難指示や避難所情報を発表するとき、携帯電話やスマートフォンから音が出ます。日本語でメールが来ます。



・ Jアラート

弾道ミサイルの情報、緊急地震速報（地震の時）、津波警報（津波が来るかもしれない時）などに、メールが来ます。避難などの準備をする時間が短い時に、日本語でメールが携帯電話やスマートフォンに来ます。

* 気象庁ホームページ「キキクル」

（いろいろな国の言葉で見ることができます）

洪水、土砂災害、川が危ない時などの情報が、地図でわかります。どのくらい危ないか、色でわかります。

*^{さいがい}災害の^{じょうほう}情報がわかるアプリ（^{くに}いろいろな国の^{ことば}言葉で^し知ることができます）



・ Safety tips

アプリをダウンロードします。
^{たいふう}台風、^{おおあめ}大雨など、^{しぜん}自然の^{さいがい}災害
^{じょうほう}の情報などが^{けいたいでんわ}携帯電話に^き来ま
 ず。

For Andloid



For iPhone



・ NHK WORLD-JAPAN

NHKの^{ばんぐみ}番組です。
 いろいろな^{くに}国の^{ことば}言葉で^み見る
 ことができます。

For Andloid



For iPhone



◎^{じょうほう}情報は^{ただ}正しいですか？ ^{かくにん}確認しましょう

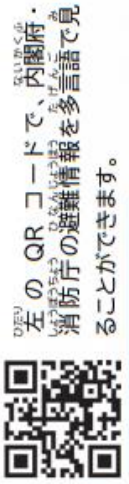
^{さいがい}災害が^お起きると、^{ただ}どれが^{じょうほう}正しい情報かよくわかりません。^{じぶんひとり}自分一人では、
^{ただ}正しいか、^{まちが}間違っているかわかりません。^{まわ}周りの^{ひと}人といろいろ^{はなし}話をしたり、
^き聞いたりして、^{ただ}正しい^{じょうほう}情報かどうか^{かくにん}確認しましょう。^{ほんとう}本当かどうか^{わからな}い話
^{はなし}（噂）や^{まちが}間違っ^{じょうほう}た情報があると、^{ひと}たくさんの^{ふあん}人がとても不安になっ
^{こま}たり、^{ほんとう}困ったりします。^{ただ}本当に^{じょうほう}正しい情報か、^{つるおかし}鶴岡市や^{やまがたけん}山形県、^{きしょうちよう}気象庁などの
^みホームページを^{かくにん}見て^{じぶん}確認^{でんわ}しましょう。^{じぶん}自分で^{しつもん}電話や^{メール}メールなどで^{しつもん}質問をして、
^{かくにん}確認^{しつもん}しましょう。

^{じぶん}自分が^わ分かる^{ことば}言葉や、^{じぶん}自分の^{くに}国の^{ことば}言葉で^{しつもん}質問できる^{ところ}所も、^し知っておきま
 しょう。

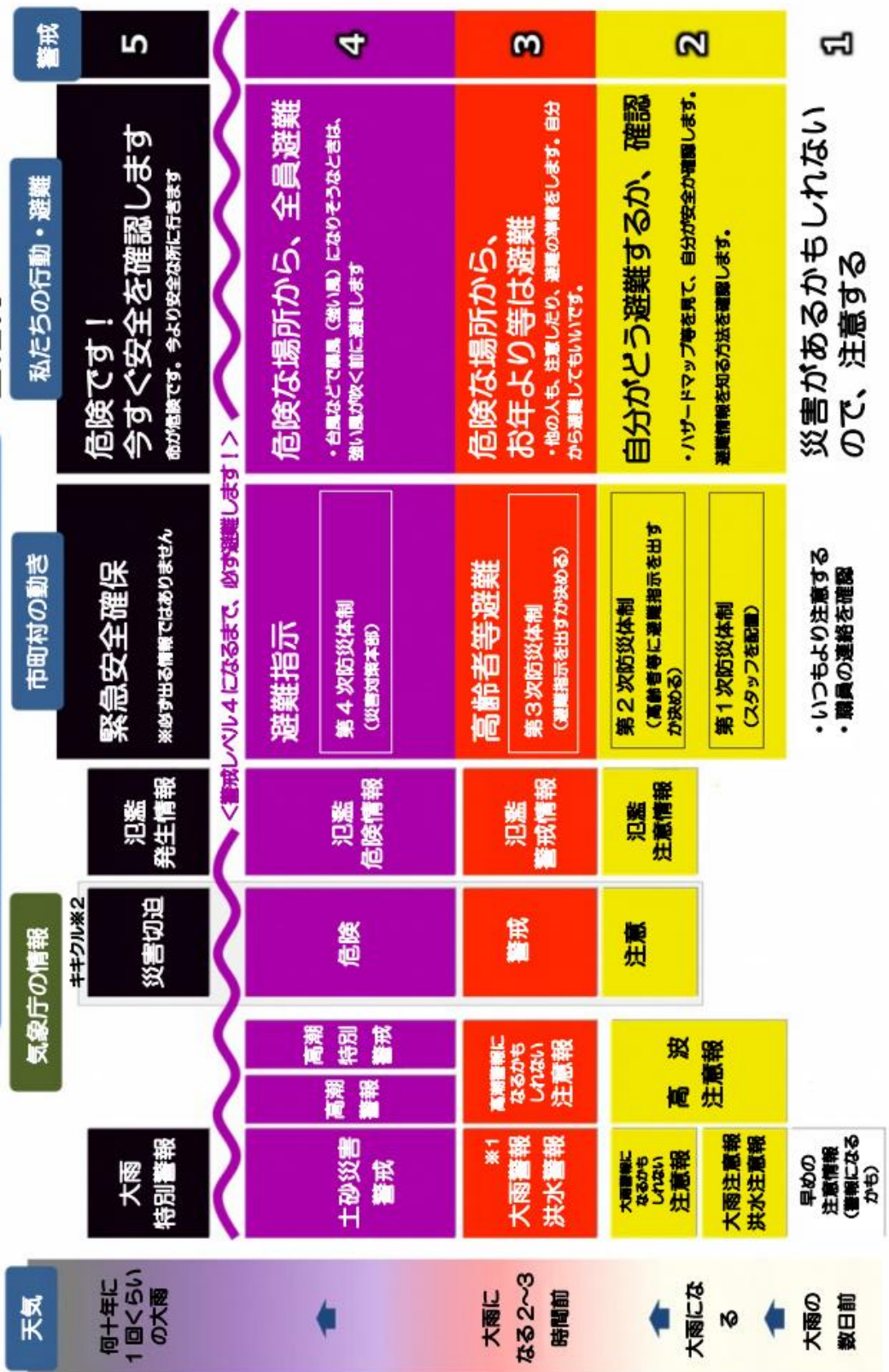


◎大切なこと

- ・いつも ^{ちか}近くに^す住んでいる^{ひと}人や、^{かいしゃ}会社、^{ともだち}友達など^{まわ}周りの^{ひと}人と^{はなし}話を^{しまし}しましょう。
- ・^{ただ}正しいか^わどうか^{じょうほう}分からない^し情報は、^{しやくしょ}市役所や、^{やまがたけん}山形県、^{くに}国などの^{きかん}機関に^{かくにん}確認
しまししょう。
- ・^{じぶん}自分の^{くに}国の^{ことば}言葉や、^{じぶん}自分が^わ分かる^{ことば}言葉で^{じょうほう}情報^みを見ることが^{できる}、^{インターネット}インターネットの^{Website}Websiteを^し知ってお^{きま}ししょう。自分の^{じぶん}わかる^{ことば}言葉で^{しつもん}質問が^{できる}
^{ところ}所^しを知ってお^{きま}ししょう。
- ・^{じょうほう}情報が^{ただ}正しいか、^お落ち着^ついて^{かんが}考え^{ます}。もし^{ただ}正しいか^{まちが}間違^{っている}かわか
^{とき}らない^{とき}時は、^{まわ}周りの^{ひと}人に^{はな}話^{さない}ないように^{しまし}しょう。



警戒レベル（5レベル）と 天気の情報



※1 夜から次の日の朝までの間、大雨警報になるかもしれない注意報はレベル3と同じです。
 ※2 P26 「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)を基に気象庁で作成

かぞく あんぜん かくにん
家族が安全か 確認しましょう
あんぴかくにん
「安否確認」



さいがい お さいがい お
災害はいつ起きるかわかりません。仕事をしている職場や学校にいる時に
さいがい お かぞく あんぜん さいがい お
災害が起きると、家族が安全かどうか、すぐにわかりません。災害が起きてす
あと でんわ
ぐ後は、電話はあまりつながりません。つながるようになるまで、時間がかか
るとき インターネットの電話や「災害用伝言ダイヤル」などを使いま
しょう。

ぼうほう かぞく あんぜん かくにん
◎いくつかの方法で、家族が安全か 確認できます



いえ かいしゃ でんわ けいたい でんわ つか とき
家や会社の電話、携帯電話が使えない時、インターネットを
つか でんわ つか
使った電話などが、使えるかもしれません。

れい
例) ・Zoom ・Skype ・Twitter ・Facebook ・LINE など

※バッテリーも準備しましょう。

さいがいようでんごん つか
◎「災害用伝言ダイヤル」を使おう



さいがいようでんごん さいがい ぼしょ でんわ
「災害用伝言ダイヤル (171)」は、災害があった場所で電話
などがつながらなくなった時、メッセージ (伝言) を録音した
き ころしゅうでんわ つか
り、聞いたりできます。公衆電話からも、使うことができます。

でんわ お あんない こえ き とお すす
電話の「171」を押します。案内の音が聞こえますので、その通りに進めます。

《伝言を録音する》

171 → 1 → はな ひと いえ でんわばんごう つるおか 話す人の家の電話番号（鶴岡は 0235 から）や、けいたいでんわ ばんごう 携帯電話の番号
→ はな 話したいメッセージ（伝言）を録音します（30 秒まで できます）

《伝言を聞く》

171 → 2 → れんらく と ひと いえ でんわばんごう つるおか 連絡を取りたい人の家の電話番号（鶴岡は 0235 から）や、
けいたいでんわ ばんごう 携帯電話の番号 → れんらく と ひと でんごん ろくおん 連絡を取りたい人が伝言を録音していたら、き 聞くことができます。



◎ 「災害用伝言板」を使いましょう

さいがいようでんごんばん * 災害用伝言板 (web 171) <https://www.web171.jp>

れんらく と ひと でんわばんごう 連絡を取りたい人の電話番号がわかると、インターネットを使って、でんごん 伝言を
み でんごん のこ 見たり、伝言を残すことができます。

* いろいろなけいたいでんわ かいしゃ 携帯電話の会社にも「災害用伝言版」があります

それぞれのけいたいでんわ かいしゃ 携帯電話の会社の Website や、スマートフォンのアプリケーション（アプリ）から、つか 使うことができます。

◎ 災害になる前に、確認しておきましょう

- ・ きんきゆう とし かぞく あつ 緊急の時、家族がどこで集まるか、ばしょ き 場所を決めておきましょう。
- ・ さいがい かぞく ちが ばしょ 災害の時、家族が違う場所にいたら、どうやってれんらく 連絡をするか決めておきましょう。

ひ なん じよ
避難所



「避難所」は、災害が起きた時に、避難する場所です。

もし災害になったら、自分が行く避難所がどこか、災害になる前に確認しておきましょう。

年齢が上の人、障害がある人、子どもがいる家族は、避難する時、時間がかかるかもしれません。危険になる前に、早く避難をしましょう。

◎鶴岡市のハザードマップ（避難のための地図）を見て、自分の避難所を確認しましょう

鶴岡市は、「洪水」「土砂災害」「津波」「ため池（水を貯めるための池）」のハザードマップ（避難のための地図）を作っています。家の近くの公園は「緊急避難場所」になっているかもしれません。災害で家がなくなった人が避難する「指定避難所」などもあります。



※下のQRコードから、ハザードマップを見ることができます。



①鶴岡市のホームページをひらいて、**安全・安心**のところをクリックする。

※スマートフォンは、右上にある「メニュー」から**安全・安心**を触ります。

②**ハザードマップ**をクリックする。

災害が起きると、鶴岡市は「緊急速報メール」を出します。「防災行政無線」で避難するための情報を出します。また、鶴岡市は「LINE」があります。LINEで鶴岡市と「友達」になると、災害について情報を見ることができます。

◎避難所まで、どの道を通って行くか、確認しましょう



避難所に行く時は、歩いて行きます。災害が起きてすぐの時、みんなが車で避難すると、道路に車がたくさんあってうまく進むことができません。避難所に行く道に危険なところがあるかもしれません。一度、避難所まで歩いてみましょう。どのくらい時間がかかるか、危険な所があるか、確認しましょう。

◎避難所についたら、このようなことをします

避難所についたら、住所、名前、歳（何歳）など、あなたの情報を紙に書きます。そして、自分が使う場所を決めたりします。在留カード、パスポート、IDなど、自分の情報が分かるものを必ず持っていきましょう。

(⇒P. 35 「防災まとめ 備蓄品／非常持出品」)

ひなんじょ きょうりょく
◎避難所では、みんなで協力しましょう

ひなんじょ ほか ひと いっしょ せいかつ まも ばしょ ちい
避難所では、他の人とも一緒に生活します。プライバシーを守れる場所が小
さかったり、寝ているときに他の人の足音や「いびき」で起きるかもしれませ
ん。ストレスを感じることも多くなるかもしれません。

ひなんじょ し ひと かんが いっしょ きょうりょく たいせつ
避難所では、知らない人のために考えたり、一緒に協力することが大切
です。お互いに悩みを相談したり、誰が何の仕事をするか決めたりしましょう。
みんなとよく話し合ったりして、避難所の生活をよくしましょう。避難所では、
からだ うご げんき きも
体を動かして、できるだけ元気な気持ちでいるようにしましょう。



がいこくしゅっしん ひと にほん せいかつ た もの な
外国出身の人は、日本の生活や食べ物が、慣れないか
もしれません。日本人にはない問題やストレスがあるか
もしれません。自分がわかる言葉で相談できる人を見つ
けましょう。わからないことを、すぐに聞いたり、相談
できる人を見つけましょう。



びちくひん ひじょうもちだしひん
備蓄品 / 非常持出品

びちくひん いえ じゅんび さいがい とき た つか
備蓄品 (いつも家などに準備して、災害があった時に食べたり使ったりするもの)

ひじょうもちだしひん ひなん も い
非常持出品 (避難するとき、すぐに持って行くもの)



おお さいがい とき すいどう でんき と た もの まいにちつか もの とど
大きな災害の時は、水道や電気が止まったり、食べ物や毎日使う物が届かなくなったりします。長い間、物が足りなくなったり、電気が止まって冷蔵庫が使えなかったりします。助ける人や物が来るまで時間がかかったりします。備蓄品や非常持出品など、必要な物は、いつも準備しておきましょう。

びちくひん の みず た もの しゅうかんぶん ようい
◎備蓄品は、飲むための水・すぐに食べられる物は1週間分、用意しましょう



みず の もの みず おとなひとり にち
・水・飲み物… 水は大人1人1日3リットル
(飲んだり、料理をしたりするときに使います)

その他、お茶、コーヒー、野菜ジュースなどの飲み物

ひじょうしょく
・非常食…
長時間保存ができて、できるだけ簡単に食べられるもの
レトルトパックの食べ物(おかゆ、アルファ化米、カレーなど)、
カップ麺や茹でてから食べる麺、みそ汁、スープ、お菓子

- * 買い物は、たくさん買すぎたりしないで、他の人と協力しましょう。
- * レトルトパックの食べ物や缶詰は、多く買っておきましょう。
- * いつも食べている物は多く買しましょう。食べたなら、その分をまた買っておきましょう。無理をしないで、いつもの生活の中で準備しましょう。
- * 被災の時には、元気が出る食べ物、疲れが取れる食べ物が必要です。いつも食べている物や、家族が好きなものを用意しましょう。

◎その他の備蓄品・・・3日分は必ず用意しましょう。それより多くてもよいです。



- ・水道が使えない時に水をもらう時のタンク（ポリ容器や水をもろう袋「給水袋」）など
- …トイレで水を流す時も、たくさんの水が必要です。



- ・卓上カセットコンロ（テーブルの上で使うことができる小さいコンロ）や火をつけるための固形燃料、カセットボンベ
- …電気がない時も、カセットコンロで料理ができます。



- ・使った後に捨てられる食器（紙の皿、紙コップなど）



- ・食べ物を包んだり、上にかける、ラップ
- …食器の上にラップを置いて使うと、水で洗わなくてもよいです。けがをした時、包帯の代わりにもなります。



- ・上着や毛布など（季節や、住んでいる場所で必要なもの）



- ・おむつ、下着、生理用品、衛生用品（物や体をきれいにするもの）、ライトなど



- ・自転車
… 車が通れない道路や、ガソリンがない時也使えます。

◎避難所に持って行く「非常持出品」を、3日分は必ず用意しましょう

急に避難をしなければならない時、たくさん物を持っていくことはできません。必ず必要なものを、災害の前に準備しておきます。そして、避難する時に、すぐ持って行けるようにしておきましょう。避難所の生活が長くなった時は、安全になったら家に行って、他の物を取りに行くこともできます。



水・飲み物… 水は 大人1人1日3リットル

（飲み物、料理をしたりするときに使います）

その他、お茶、コーヒー、野菜ジュースなどの飲み物

- ・非常食… 長い時間保存ができて、できるだけ簡単に食べられるもの



レトルトパックの食べ物

（おかゆやアルファ化米、カレーなど）、
カップ麺や茹でてから食べる麺、みそ汁、スープ、お菓子など

* 台所などに置く「備蓄品」とは別に、用意しましょう。

た ひじょうもちだしひん
◎その他の「非常持出品」



きちようひん たいせつ
・貴重品（大切なもの）

くるま めんきょしょう けんこうほけんしょう ぎんこう つうちょう いんかん
車 の免許証、健康保険証、銀行の通帳、印鑑（はんこ）、
かね ざいりゅう
お金、パスポート、在留カード、マイナンバーカードなど



ひなん さいがい とき ひつよう
・避難グッズ（災害の時に必要なもの）

かいちゅうでんとう ヘルメット あまぐ ぐんて
懐中電灯、ヘルメット、雨具（かっぱなど）、マスク、軍手
おも も てぶくろ
（重いものを持つときなどの、手袋）

かいちゅうでんとう き ところ お
…懐中電灯は、いつも決まった所に置いておきましょう。
じしん あと くうき わる
地震のすぐ後は、ホコリで空気が悪くなります。マスク
は、ホコリが体に入るのを防ぎます。



けいたいでんわ じゅうでんき
・携帯電話、充電器、バッテリー、

も はこ けいたい えんぴつ かみ
持ち運びができる携帯ラジオ、ペン・鉛筆・紙など



ふく さむ とき き もの もうふ
・服、寒い時に着る物、毛布、カイロなど



・タオル、ウェットティッシュ、ビニールシート、缶切りなど

からだ ふ とき からだ もの
…タオルはけがをしたときや、体を拭く時、体や物を
きれいにする時にたくさん使います。

ほうさい
防災メモ

なまえ 名前	
こくせき 国籍	けつえきがた 血液型
パスポート番号	
にほん じゅうしょ 日本の住所	
でんわ 電話	
だいいしかん りょうじかん 大使館・領事館	
かぞく なまえ 家族の名前	
じゅうしょ 住所	
でんわ 電話	
しょくば がっこう 職場・学校など	
めいしやう 名称	
じゅうしょ 住所	
でんわ 電話	
にほん かぞく ゆうじん ねんらくさき 日本の家族、友人などの連絡先	
なまえ 名前	
じゅうしょ 住所	
でんわ 電話	
ひなんばしょ 避難場所	
じぶん くに ねんらくさき 自分の国の連絡先	
なまえ 名前	
でんわ 電話	
びやうき なまえ 病気の名前	その他
いつも飲んでいる薬	
アレルギー	
いつも行く病院	

きんきゅうれんらくさき
緊急連絡先

☎ 110 警察署 (事件・事故)

けいさつかん
警察官に、すぐ来てほしいときは 110 に 電話します！

ごうとう さぎ
強盗、詐欺、ストーカー、ひったくり、こうつうじこ まいご おもの
交通事故、迷子、落とし物など

☎ 119 消防署 (火事・救急車)

しょうぼうしゃ きゅうきゅうしゃ
消防車や救急車にすぐに来て欲しいときは 119 に 電話します。

かじ きゅうびょうき けが ひと み とき
火事、急な病気や怪我をした人を見た時など

☎ 171 災害用伝言ダイヤル

じしん さいがい とき つか でんごん
地震などの災害の時に使える、伝言サービスです。

◎その他に、ほか 困ったことがあったら出羽庄内国際村に連絡してください。

でわしょうないこくさいむら
出羽庄内国際村

つるおかしいせはらまち
〒997-0802 鶴岡市伊勢原町 8-32

でんわばんごう
電話番号：0235-25-3600 FAX：0235-25-3605

けいたいでんわ えいご
携帯電話：090-9638-5600(英語)

ちゅうごくご
090-9638-5621(中国語)

かんごくご
090-3645-9627(韓国語)

E-mail : info@dewakoku.or.jp

こくさいむら そうだん せいかつ かんけい つうやく
※国際村は、相談や、生活に関係した通訳もしています。

いつでも相談してください。

つるおかし ざいじゆうがいこくじん
鶴岡市 在住外国人のための
ぼうさい
防災ハンドブック

れいわ ねん がつ にち はっこう
令和5年1月31日 発行

はっこう つるおかし きかく ぶしよくぶんか そうそうとしすいしんか
発行 鶴岡市企画部食文化創造都市推進課
へんしゅう こうえきざいだんほうじん でわしやうないこくさいこうりゆうざいだん
編集 公益財団法人出羽庄内国際交流財団
つるおかし しみん ぶ ぼうさいあんぜんか
鶴岡市市民部防災安全課
きょうりやく で わしやうないこくさいむら つうやく
協力 出羽庄内国際村コミュニティ通訳
ちゅうごくご かんこくご ご
中国語／韓国語／ベトナム語



このハンドブックは、
いっぽんざいだんほうじんじちたいこくさいかきょうかい じよせい う
一般財団法人自治体国際化協会の助成を受けて
さくせい
作成しました。

